

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	21	学校名	宇都宮市立宝木小学校
-----	---------------	------	----	-----	------------

平成25年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる判断力、新しい時代を拓く開拓者精神(フロンティアスピリット)に基づく実践力をもち、夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像など)

たくましい子：心身ともに健康で、強い意志をもって粘り強く行動する

よく学ぶ子：基礎学力を確実に身に付け、自ら考え主体的に学習する

やさしい子：互いを尊重し、思いやる心を大切にしながら他とかかわり、ルールやマナーを守り、適切に判断・行動する

2 学校経営の理念

「やさしさ 勇気 喜び そして 夢」

夏には木陰をつくり、やさしくそっと子どもたちを包むメタセコイア。その姿のように、子どもたちの心に「やさしさ」を育てたい。前に進もうと努力するときは、高く伸びるメタセコイアに「勇気」をもらいたい。メタセコイアの前で、共に遊ぶときに広がる笑顔と喜び日々の学習や活動では、できた「喜び」分かった「喜び」、伸びた「喜び」を大切にしたい。そして、メタセコイアが感じさせてくれる未来へ伸びる姿に、「夢」をえがける子どもたちになることを願いたい。

メタセコイアがくれる「やさしさ 勇気 喜び そして 夢」。それは、メタセコイアと共に成長していつてほしい宝木小の子どもたちの姿であり、本校教育活動の理念である。

3 学校経営の方針 (地域学校園内で共通する方針は、文頭に○または該当箇所に下線)

(1) 児童にとって、わくわくしながら登校し、満足して下校できる学校を目指す。

アプローチⅠ：基礎学力を高める授業づくり

“授業で勝負！” — どの子も取組の成果が実感できる毎時間の授業の充実 —

アプローチⅡ：規律と活気のある学級づくり

“認め励まし、教え導く！” — 心の通い合う人間関係と、やる気の育成 —

(2) 教職員にとって、自分の力を十分に発揮できる、やりがいのある学校づくりを推進する。

アプローチⅢ：教職員一人一人が活躍する学校づくり

“同僚性を生かし、教育目標実現に向けた不断の追求！” — 報・連・相を通して —

(3) 保護者にとって、安心して子どもを通わせられる学校を目指す。

アプローチⅣ：保護者の皆さんと力強いスクラムづくり

“相互理解と相互連携の構築！” — 子どものよりよい成長を軸に —

(4) 地域にとって、信頼できる開かれた学校づくりを推進する。

アプローチⅤ：地域の皆さんとの強い絆づくり

“地域と学校の相互交流による信頼関係の構築！” — 地域の宝としての子どもを軸に —

4 今年度の重点目標 (地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所に下線)

(1) 学校運営

・「やさしさ 勇気 喜び そして 夢」を軸とした特色ある教育活動の推進

・「日々の授業・活動、児童とのかかわり」に力を注ぐことのできる職場環境づくり

(2) 学習指導

○基礎的な学習態度・学習習慣の形成と基礎的基本的な学習内容の定着

・児童のやる気を高める学習指導の展開と読書意欲の向上

・学びに向かう集団づくり

(3) 児童生徒指導

○基本的生活習慣の形成（「児童のやくそく」の徹底）

- ・生命と人権の尊重を軸とした、いじめを許さない態度や実践力の育成
- ・「宝木の子ファイル」の活用による、児童の記録累積と活用

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

○児童が主体的に取り組む体力づくり（「元気あっぷノート」「チャレンジカード」の活用）

- ・食育の充実（「元気あっぷカード」の実施と活用）

5 学習指導，児童生徒指導，健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくりに関する取組

(1) 育てたい資質・能力（地域学校園内で共通するものは、文頭に○または該当箇所に下線）

- ・人とのかかわり、ふれ合いを大切にしたい、人間関係づくりを通じた社会性
- ・積極的に体力を伸ばし、健康への関心を高める態度や実践力

○分かった喜び、できた喜び、認められた喜びなど、喜びの実感による自己肯定感

○夢や希望の種を蒔く活動を大切にしながら、児童の夢や憧れを形成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇）

「すくすく宝木の子プロジェクト」 — メタセコイアと共に伸びる宝木の子 —
Growing up with Metasequoia

A：やさしさプロジェクト

◇縦割り班による「ふれあい活動」

- ・遊び、給食、オリエンテーリング集会、栽培活動、6年生を送る会等

○学校間交流活動

- ・わかくさ特別支援学校（昼休み交流、行事交流等）
- ・保育園・幼稚園（生活科、運動会等）
- ・中学校（地域学校園としての取組）
- ・地域の方々（高齢者との給食交流等）

○あいさつ運動

B：勇気プロジェクト

◇児童が主体的に取り組む体力づくり

「元気あっぷノート」「チャレンジカード」の活用

各種体育的行事の推進（ドッジボール大会・縄跳び大会・持久走チャレンジ等）

◇食育の充実

「元気あっぷカード」の実施と活用

C：喜びプロジェクト

◇自己肯定感を育む特別活動の充実（役割がある、認められる、達成した喜びがある）

- ・学級会活動 ・委員会活動 ・児童会活動の活性化
- ・校内放送活動の工夫と充実
- ・メロディースタッフ活動

○基礎・基本の定着を大切に、「分かった」、「できた」が実感できる授業づくり

◇基礎・基本の確実な定着を目指した、家庭学習の推進

家庭学習の手引きとしての「家庭学習で自ら学ぶ力を育てましょう」の活用

D：夢プロジェクト

◇小さな種蒔き活動

〈人・モノ・コトとの出会いで小さな種を蒔く〉

農業体験、栽培活動、出前講座、読み聞かせ、ふれ合い文化教室、鑑賞教室
スーパーサイエンスティーチャー等

〈憧れの種を蒔く〉

先輩、その道の達人、プロなどの話や体験などを通じた活動

◇児童の考えを生かした「夢プロジェクト」